



インターネットにつなぐとき

守ってほしい、大切なこと

インターネットは便利で大きな可能性があり、世界中とつながることができます、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くて複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



2 メールのリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードなどを盗もうとしたりします。LINEなどでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になりますこともあるので、変だと思ったら誰かに確認しましょう。



3 パソコンなどは常に最新の状態にして弱点をなくす

アプリやソフトが古いままで弱点が残っていると、そこを悪い人や最新のウイルスが狙ってきます。「後で」にせず、最新にアップデートしましょう。スマホも同じです。ただし、学校のパソコンなどは大人がちゃんと守っているので、自分でする必要はありません。



4 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、1人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



●「パスワード」について：長くて複雑なほど盗まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせたものにしましょう。他で使っているパスワードと同じものを使い回さないことです。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋認証なども組み合わせれば、もしパスワードが盗まれても守られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持っていないもの（例：スマホに届くショートメッセージ）」「あなた自身を表すもの（例：指紋）」といった別の要素の方法を組み合わせてログインすることを「多要素認証」と言い、さらに強く守る方法になります。

●「アップデート」について：パソコンやスマホなどに入っているアプリやソフトは、攻撃で狙われるような弱点が見つかれば、作った人がそれを修正して、使っている人に知らせます。これを「アップデート」といいます。いつも使っているアプリやソフトがアップデートするか聞いてきたときは、速やかにアップデートしましょう。